

令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年	学校	150	47	39	9.4	16.7	学校	444
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	145	59.2	45.2	49.8	40.0	46.3	8.3	8.0	14.0	12.9	9.8
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年	学校	148	68.9	53.8	58.9	52.5	52.0	3.9	2.8	6.2	2.2	5.6
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年	学校	161	63.0	50.7	59.0	64.0	64.4	8.4	3.5	7.1	5.3	4.1
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	64.4	9.1	3.0	7.6	4.4	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	149	102.9	96.2	133.7	84.9
10月16日	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	119	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年 男子	学校	27.36	26.38	39.89	50.85	84.14		8.25	188.78	17.68	39.58
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14		8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82		8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	22.68	21.71	41.33	47.03	54.79		9.02	167.66	11.47	46.82
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12		9.03	166.76	12.43	47.58
	全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60		8.97	166.44	12.20	48.14

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果【3年生】

<国語>平均正答率は大阪市より5ポイント低い。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてにおいて、大阪市の平均正答率に達していない。平均無解答率は大阪市より2.6ポイント高い。
<数学>平均正答率は大阪市より7ポイント低い。「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべてにおいて、大阪市の平均正答率に達していない。平均無解答率は大阪市より5.5ポイント高い。
<理科>大阪市と比較して、IRTバンド1と2の割合が高く、IRTバンド4と5の割合が低い。
<生徒質問紙>「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に対する回答において、ICT機器の使用頻度が全国・大阪市より高い。

○チャレンジテスト【3年生】

<国語>大阪府と比較して、平均点は5.0点低く、平均無解答率は1.5%高い。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてにおいて課題がある。
<社会>大阪府と比較して、平均点は6.0点低く、平均無解答率は1.5%高い。地理的分野、歴史的分野ともに課題がある。
<数学>大阪府と比較して、平均点は4.1点低く、平均無解答率は1.9%高い。知識・技能の観点に関する問題に課題がある。
<理科>大阪府と比較して、平均点は6.0点低く、平均無解答率は1.9%高い。特に、思考・判断・表現の観点に関する問題に課題がある。
<英語>大阪府と比較して、平均点は6.9点低く、平均無解答率は2.4%高い。選択式の問題は弱いのが、短答式は大阪府平均とほぼ同じである。

○大阪市英語力調査(GTEC)【3年生】

平均のスコアは、「リーディング」「リスニング」「ライティング」「スピーキング」のすべてにおいて大阪市平均に達していない。CEFR A1レベル相当以上の割合は53.2%である。

○チャレンジテスト【2年生】

<国語>大阪府と比較して、平均点は4.4点高く、平均無解答率は3.4%低い。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてにおいて大阪府平均を上回っている。また、評価の観点別平均点においても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに大阪府平均を上回っている。
<社会>大阪府と比較して、平均点は9.5点高く、平均無解答率は3.5%低い。学習指導要領の領域別平均点において、地理的分野、歴史的分野ともに大阪府平均を大きく上回っている。また、評価の観点別平均点においても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに大阪府平均を大きく上回っている。
<数学>大阪府と比較して、平均点は3.9点高く、平均無解答率は5.5%低い。「数と式」「関数」の領域において、大阪府平均を上回っている。また、評価の観点別平均点においても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに大阪府平均を上回っている。
<理科>大阪府と比較して、平均点は5.8点高く、平均無解答率は2.8%低い。学習指導要領の領域別平均点において、「粒子」「生命」「地球」のすべてで大阪府平均を上回っている。また、評価の観点別平均点においても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに大阪府平均を上回っている。
<英語>大阪府と比較して、平均点は0.2点高く、平均無解答率は2.0%低い。「聞くこと」「書くこと」において大阪府平均を上回っている。

○チャレンジテスト・チャレンジテストplus【1年生】

<国語>大阪府と比較して、平均点は0.1点低く、平均無解答率は1.8%低い。「書くこと」「読むこと」において大阪府平均を上回っている。
<社会>大阪市と比較して、平均点は7.6点低く、平均無解答率は0.5%高い。地理的分野、歴史的分野ともに課題がある。
<数学>大阪府と比較して、平均点は2.3点高く、平均無解答率は1.7%低い。「数と式」「関数」の領域において、大阪府平均を上回っている。
<理科>大阪市と比較して、平均点は1.0点高く、平均無解答率は0.9%高い。「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに大阪市平均を上回っている。
<英語>大阪府と比較して、平均点は0.8点低く、平均無解答率は0.8%低い。「聞くこと」「書くこと」において大阪府平均を上回っている。

【今後に向けて】

授業規律が守られた学習環境で、生徒の学力面において成果が出てきている。今後も授業規律を確保しつつ「主体的・対話的で深い学び」を進め、より一層の授業改善を行い生徒の学力向上に努める。

今後も引き続き授業改善と充実に取り組み、習熟度別学習やチームティーチングの工夫、ICTの活用をさらに進めたい。また、授業や学級活動などにおける生徒間での話し合う活動を通じて、生徒自身が考えを深めたり、広げたりできるようにしたい。

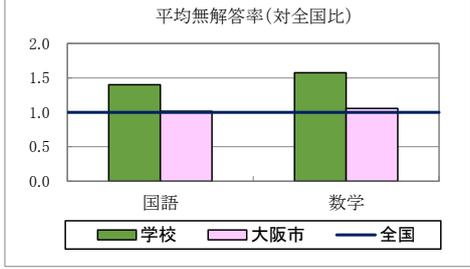
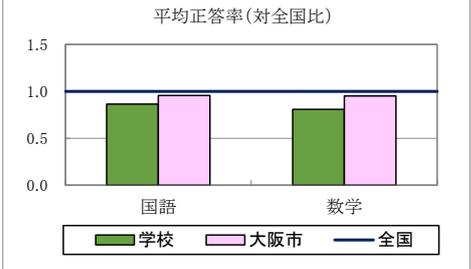
令和7年度 西淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	47	39
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	9.4	16.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

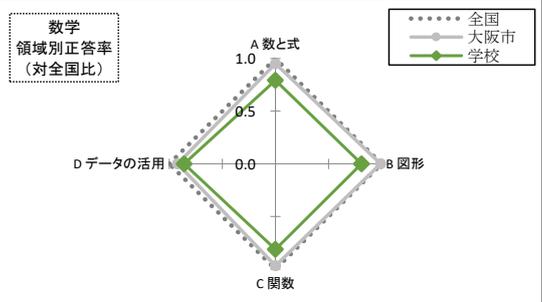
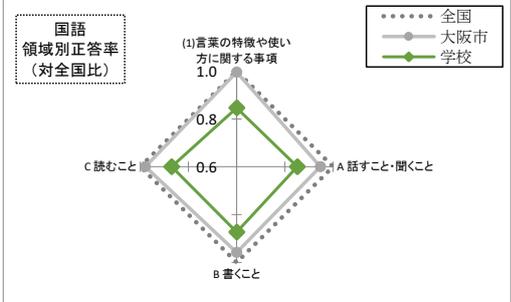
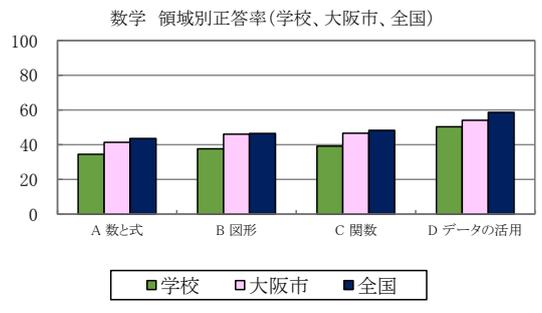
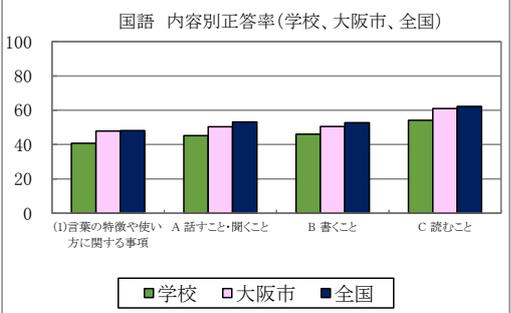


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	40.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	45.3	50.4	53.2
B 書くこと	5	46.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	54.2	61.0	62.3

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	34.5	41.4	43.5
B 図形	4	37.7	46.1	46.5
C 関数	3	39.1	46.6	48.2
D データの活用	3	50.4	54.0	58.6

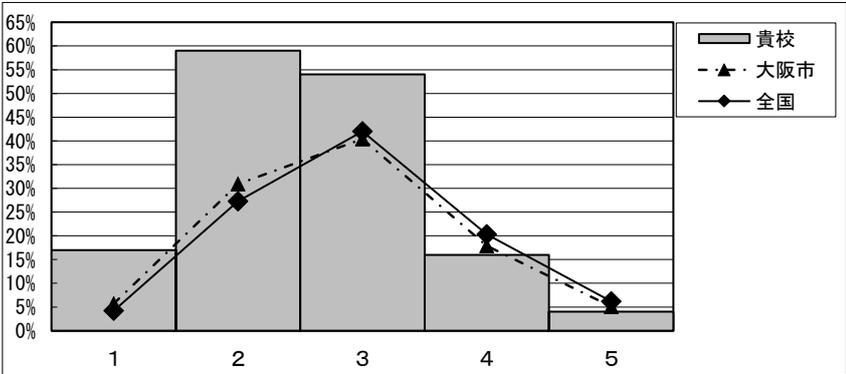
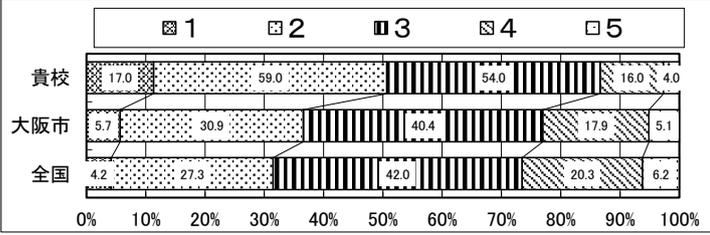


令和7年度 西淀中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理科】

	平均IRTスコア
学校	444
大阪市	489
全国	503



令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

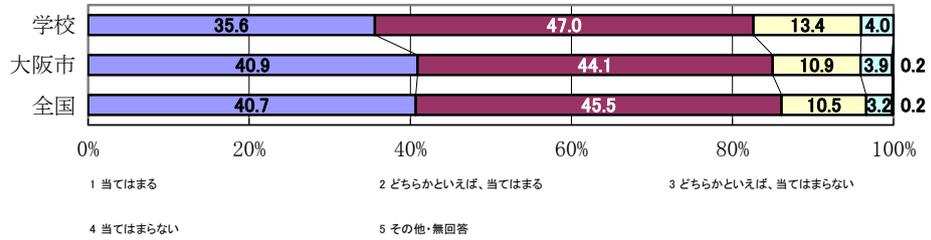
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

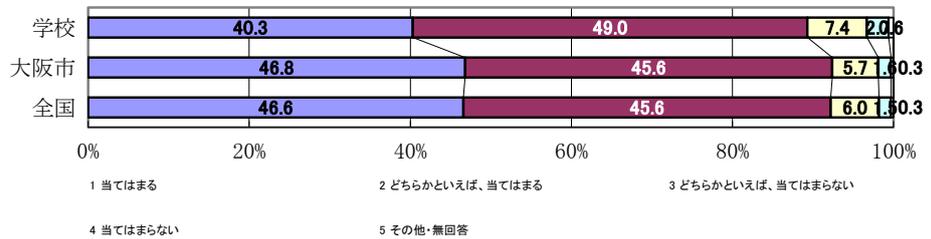
5

自分には、よいところがあると思いますか



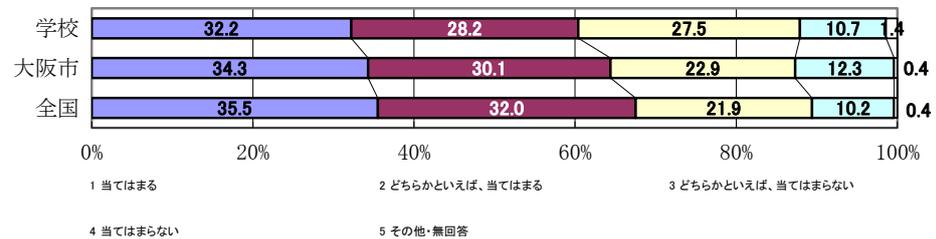
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



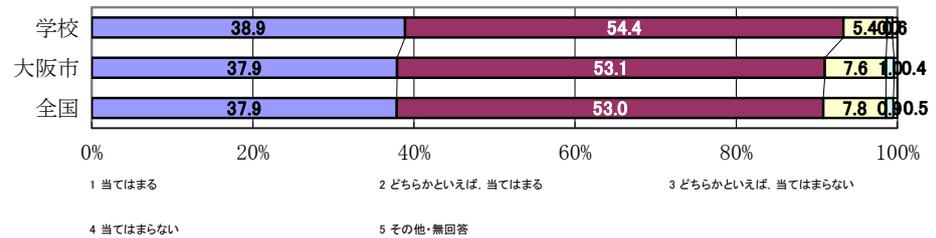
7

将来の夢や目標を持っていますか



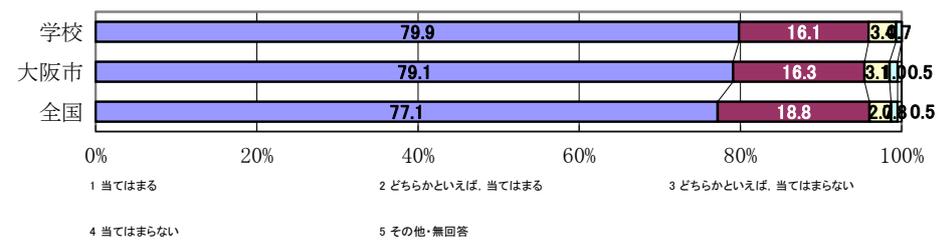
8

人が困っているときは、進んで助けられていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけなないことだと思いますか



令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

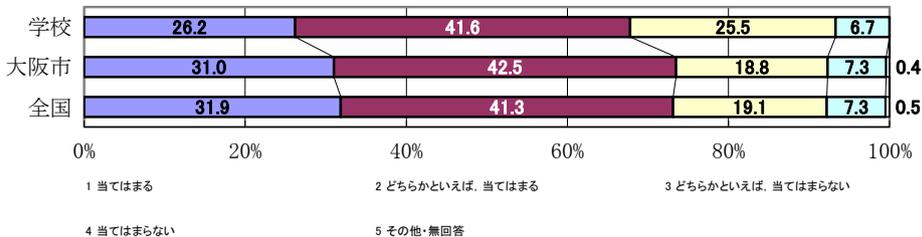
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

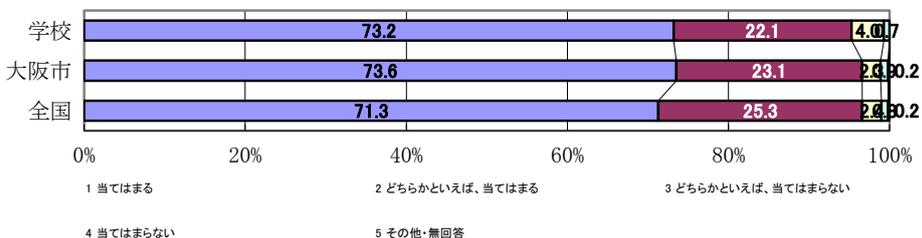
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



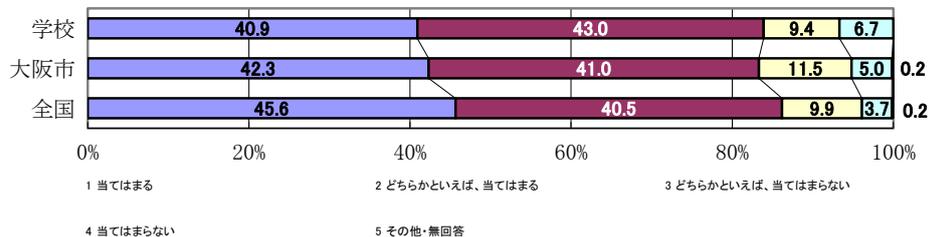
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



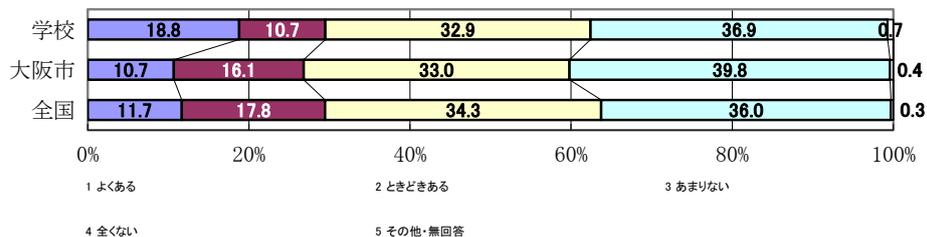
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



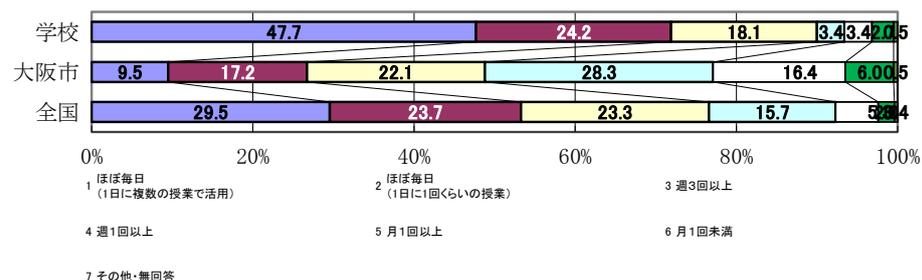
26

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)



28

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

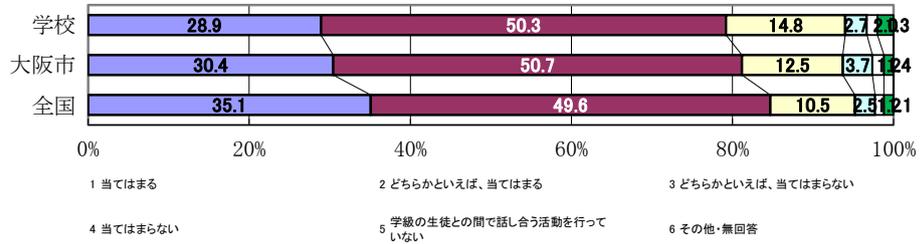
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

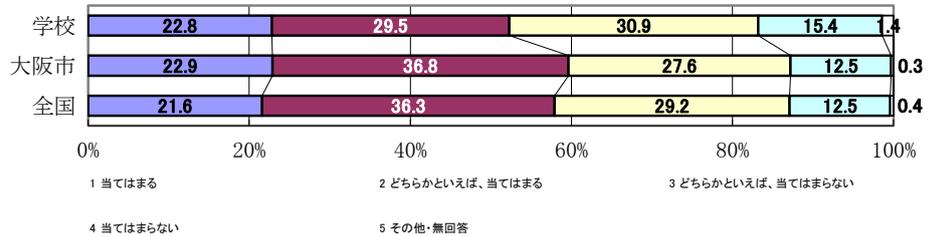
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



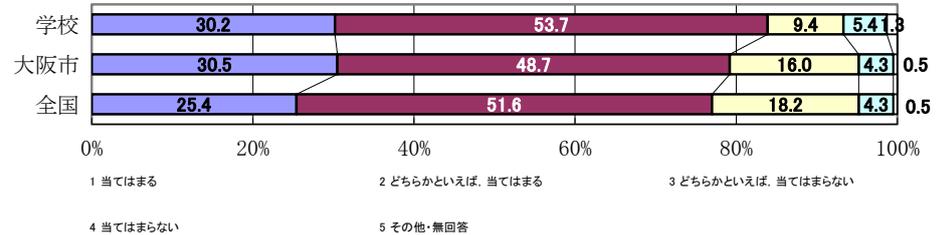
45

国語の勉強は好きですか



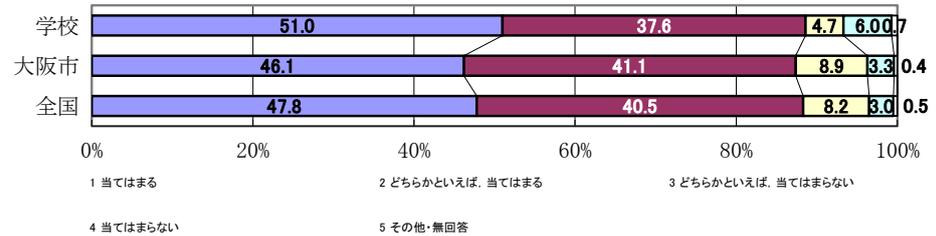
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



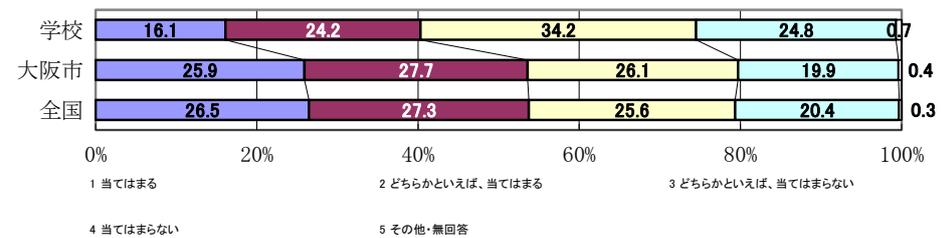
47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



53

数学の勉強は好きですか



令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

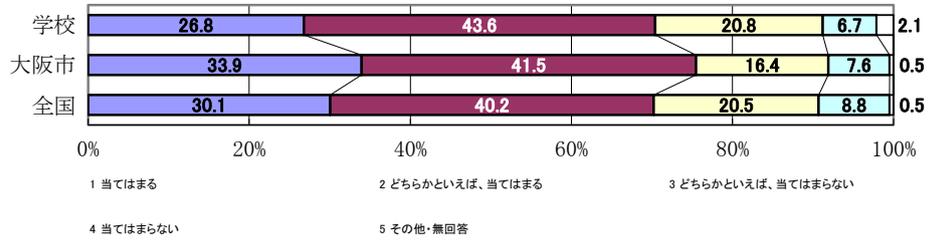
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

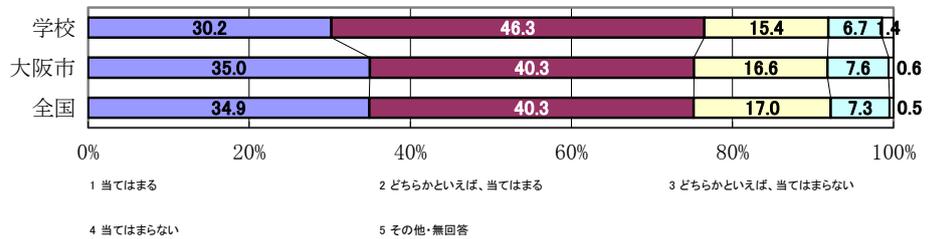
54

数学の授業の内容はよく分かりますか



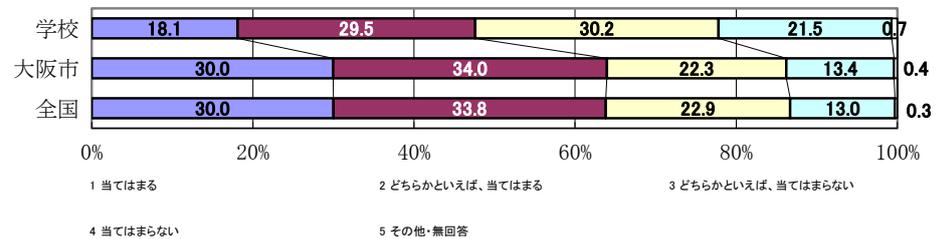
55

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



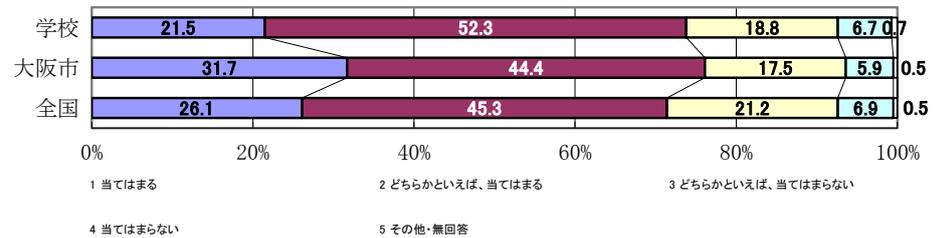
61

理科の勉強は好きですか



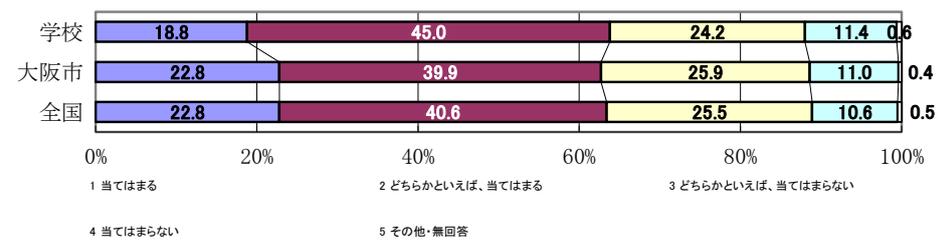
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



63

理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より



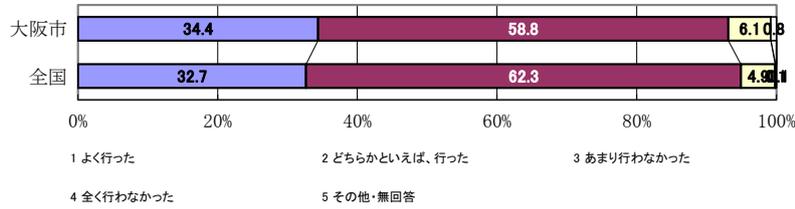
質問番号

質問事項

31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

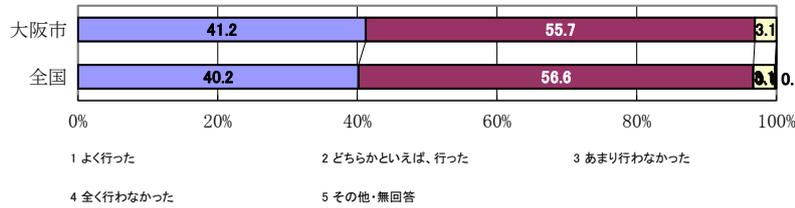
学校 「よく行った」を選択



41

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

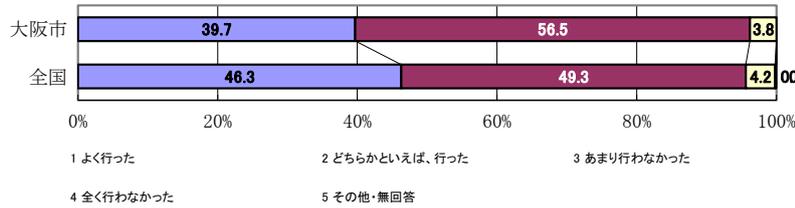
学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

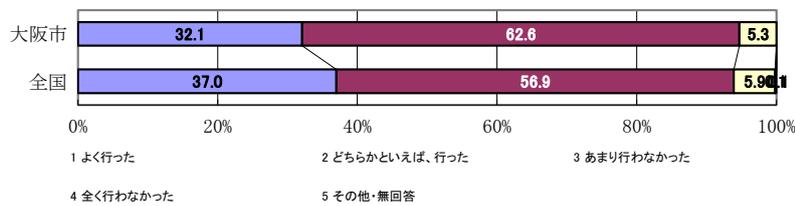
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



51

調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

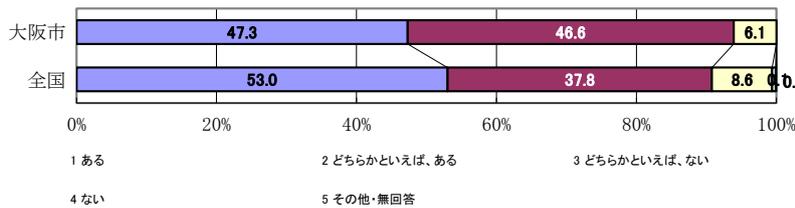
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

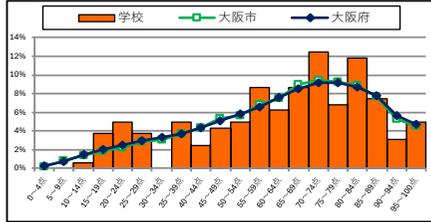
学校 「ある」を選択



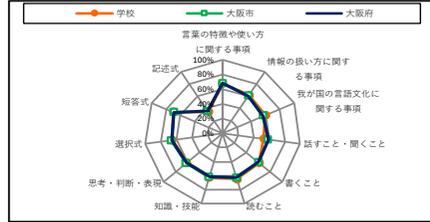
大阪市立西淀中学校 令和7年度「中学生チャレンジテスト(1年生)」 検証用グラフ
令和8年1月14日(水)実施

【国語】

【得点分布】



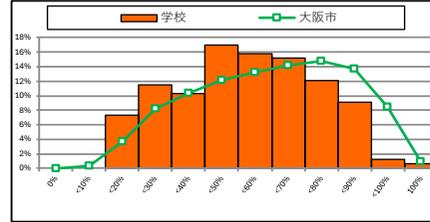
【内容・観点・問題別の分布】



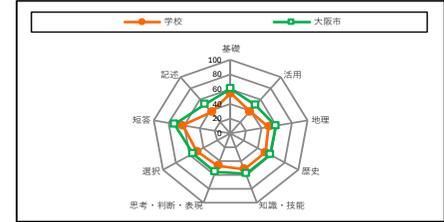
大阪市立西淀中学校 令和7年度「中学生チャレンジテストplus(1年生)」 検証用グラフ
令和8年1月14日(水)実施

【社会】

【正答率分布】

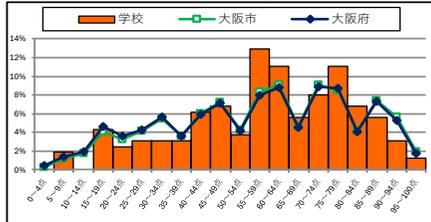


【領域・観点・問題別の分布】

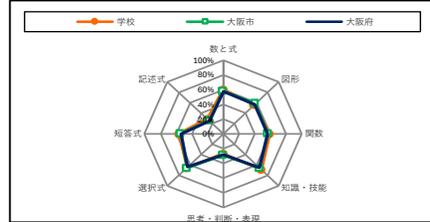


【数学】

【得点分布】

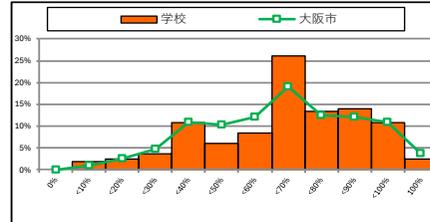


【領域・観点・問題別の分布】

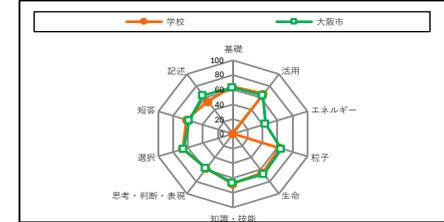


【理科】

【正答率分布】

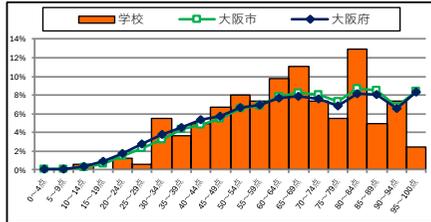


【領域・観点・問題別の分布】

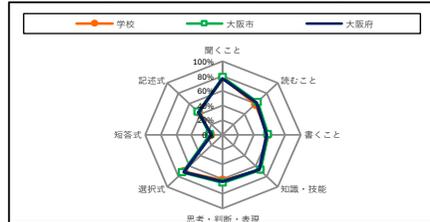


【英語】

【得点分布】



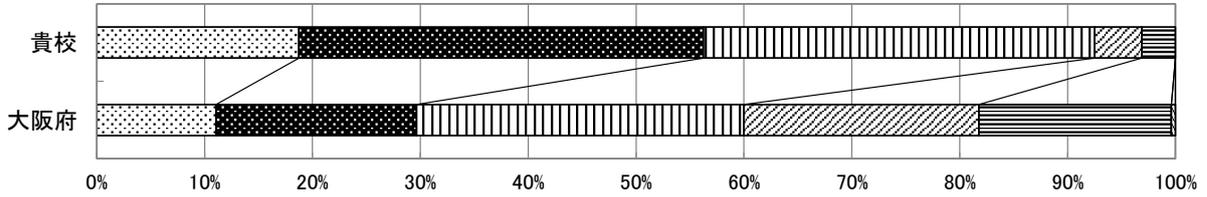
【領域・観点・問題別の分布】



※「エネルギー」と「粒子」はいずれかを学校で選択しています。

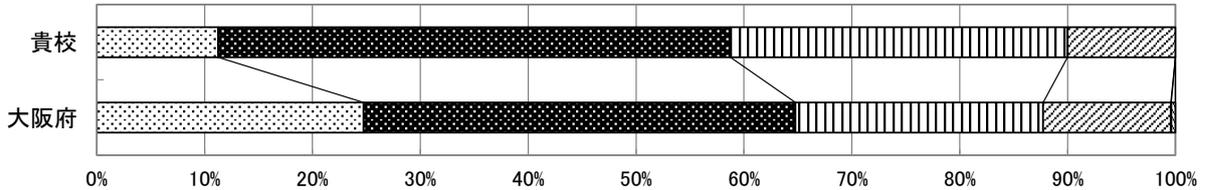
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	18.8	37.5	36.3	4.4	3.1	—	—	—	0.0	0.0
大阪府	11.1	18.6	30.4	21.8	17.8	—	—	—	0.0	0.4

□1. ほぼ毎日 ■2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 ■5. 月1回より少ない □その他 □無回答



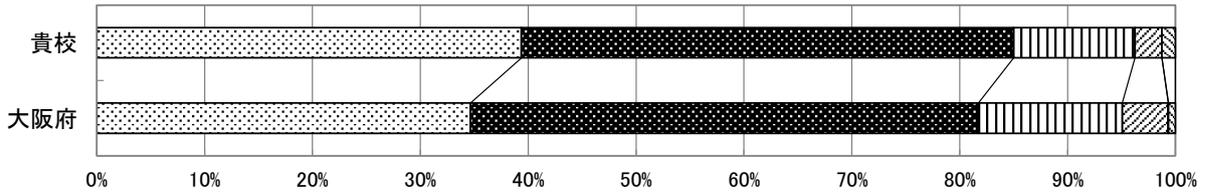
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	11.3	47.5	31.3	10.0	—	—	—	—	0.0	0.0
大阪府	24.7	40.0	23.0	11.8	—	—	—	—	0.0	0.4

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



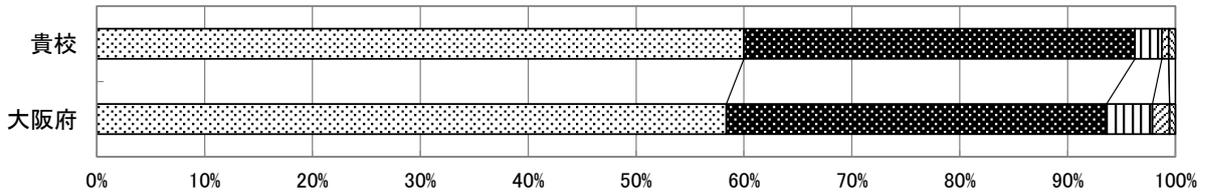
質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	39.4	45.6	11.3	2.5	—	—	—	—	0.0	1.3
大阪府	34.6	47.1	13.3	4.3	—	—	—	—	0.0	0.6

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



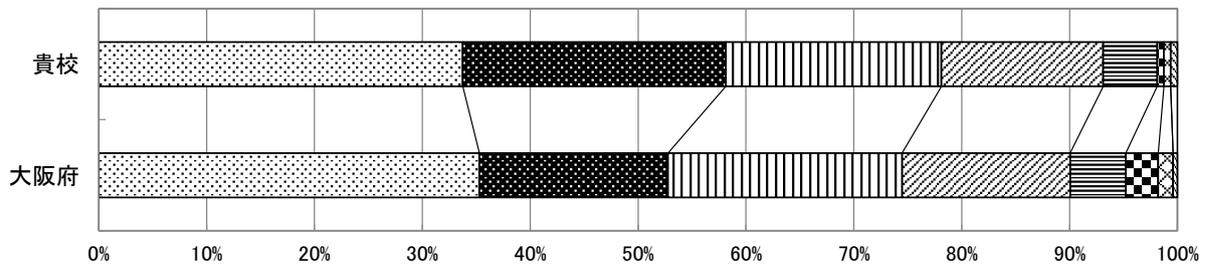
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	60.0	36.3	2.5	0.6	—	—	—	—	0.0	0.6
大阪府	58.4	35.3	4.3	1.6	—	—	—	—	0.0	0.5

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



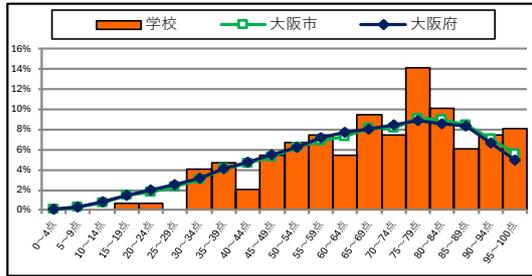
質問番号	質問事項									
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	33.8	24.4	20.0	15.0	5.0	0.6	0.6	—	0.0	0.6
大阪府	35.3	17.5	21.7	15.6	5.2	3.0	1.4	—	0.0	0.4

- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 30分以上、1時間より少ない
- 6. 30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない
- 8. その他
- 無回答

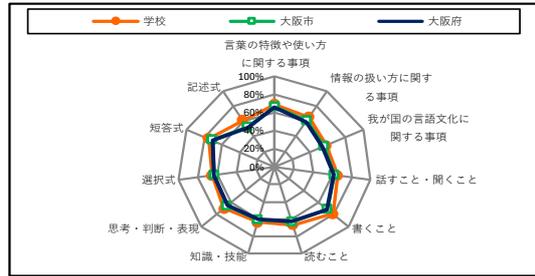


【国語】

【得点分布】

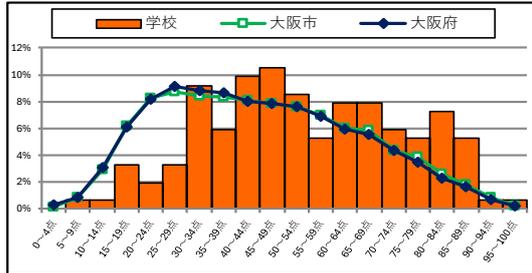


【内容・観点・問題別の分布】

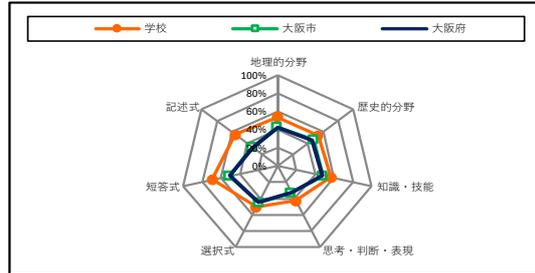


【社会A】

【得点分布】

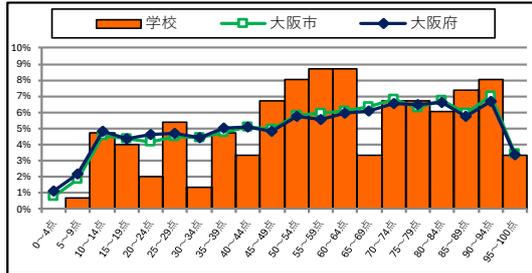


【領域・観点・問題別の分布】

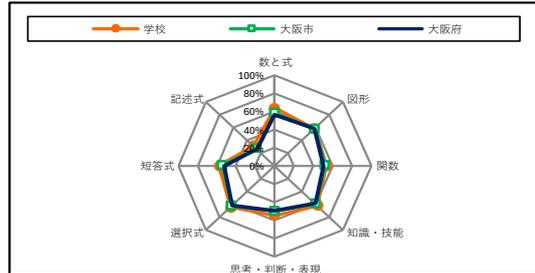


【数学】

【得点分布】

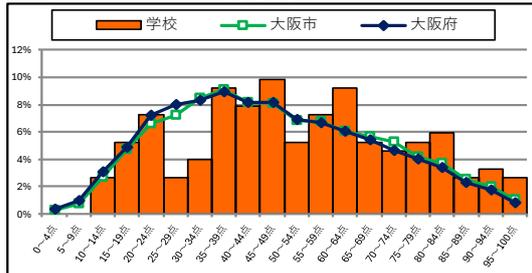


【領域・観点・問題別の分布】

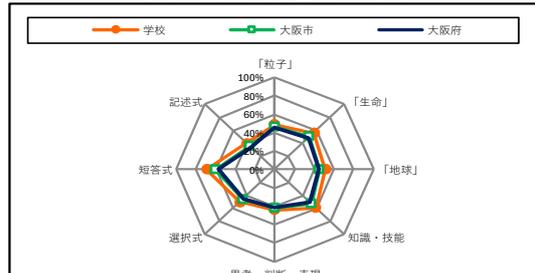


【理科】

【得点分布】

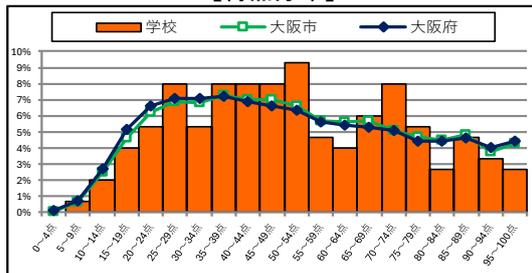


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】

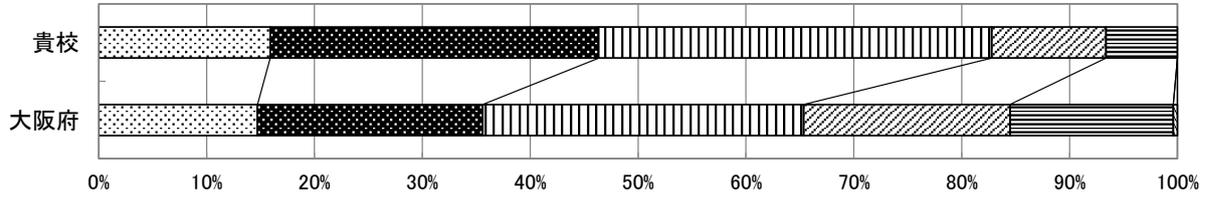


【領域・観点・問題別の分布】



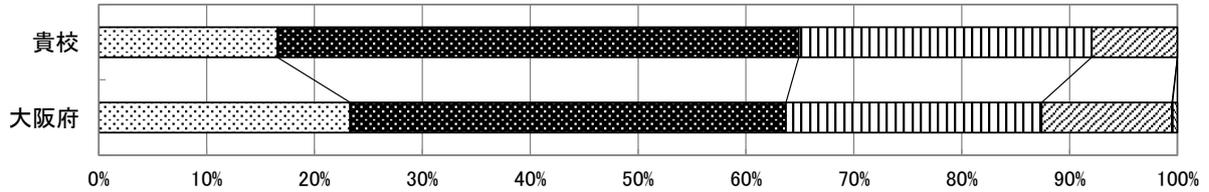
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	15.9	30.5	36.4	10.6	6.6	—	—	—	0.0	0.0
大阪府	14.7	20.9	29.8	19.1	15.1	—	—	—	0.0	0.4

□1. ほぼ毎日 ■2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 ■5. 月1回より少ない □その他 □無回答



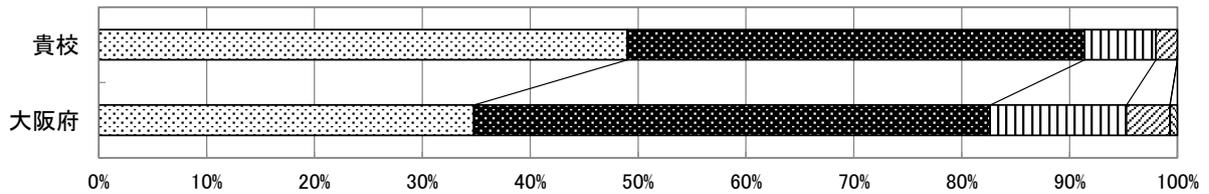
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	16.6	48.3	27.2	7.9	—	—	—	—	0.0	0.0
大阪府	23.3	40.4	23.7	12.1	—	—	—	—	0.1	0.4

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



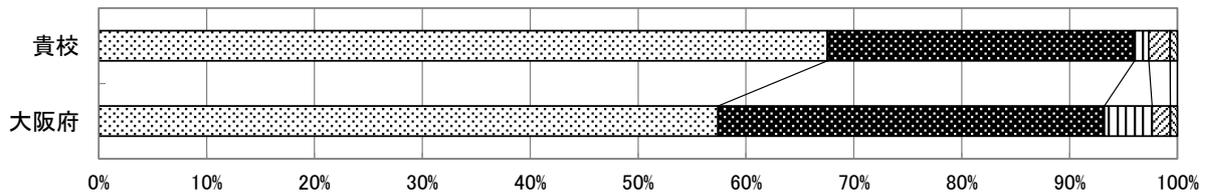
質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	49.0	42.4	6.6	2.0	—	—	—	—	0.0	0.0
大阪府	34.8	47.9	12.6	4.0	—	—	—	—	0.0	0.7

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



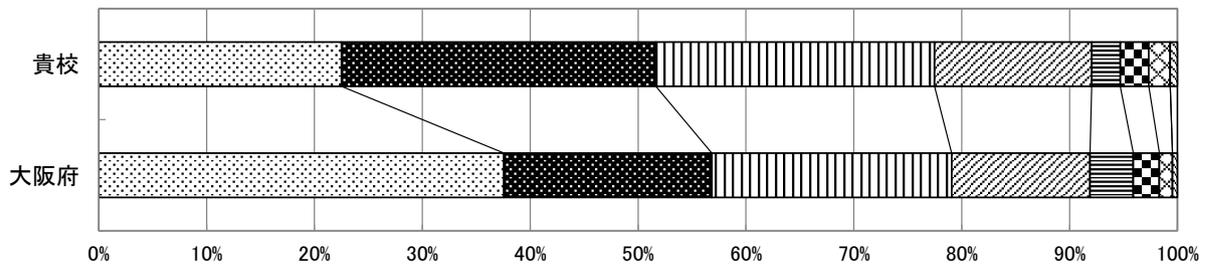
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	67.5	28.5	1.3	2.0	—	—	—	—	0.0	0.7
大阪府	57.4	35.8	4.4	1.7	—	—	—	—	0.0	0.6

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	22.5	29.1	25.8	14.6	2.6	2.6	2.0	—	0.0	0.7
大阪府	37.6	19.3	22.2	12.8	4.0	2.4	1.2	—	0.0	0.5

- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 30分以上、1時間より少ない
- 6. 30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない
- 8. その他
- 無回答

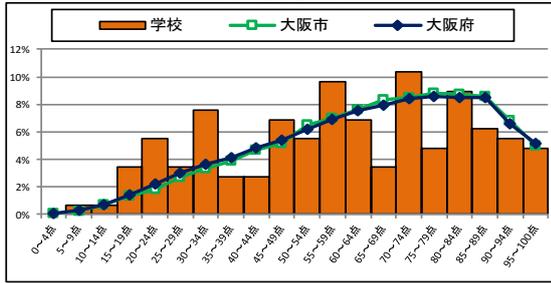


大阪市立西淀中学校 令和7年度「中学生チャレンジテスト(3年生)」検証用グラフ

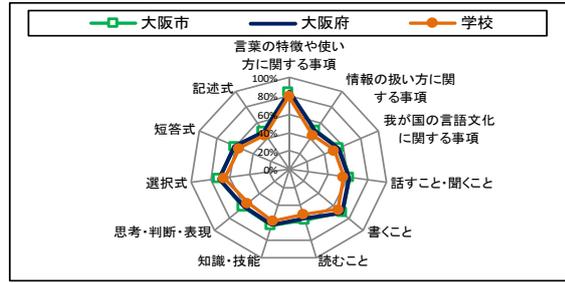
令和7年9月2日(火)実施

【国語】

【得点分布】

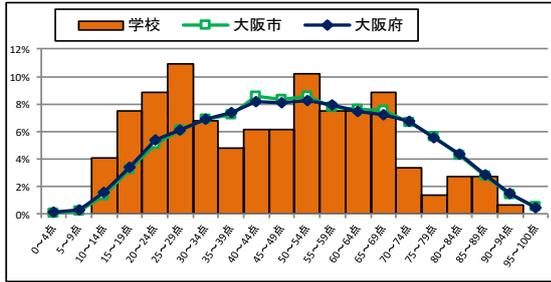


【内容・観点・問題別の分布】

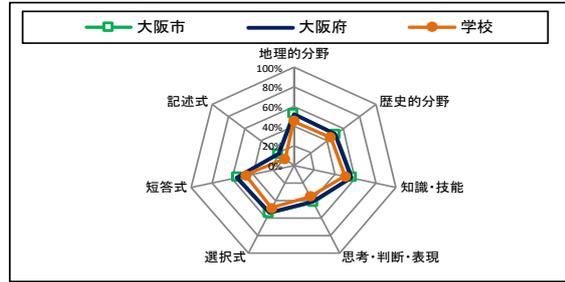


【社会】

【得点分布】

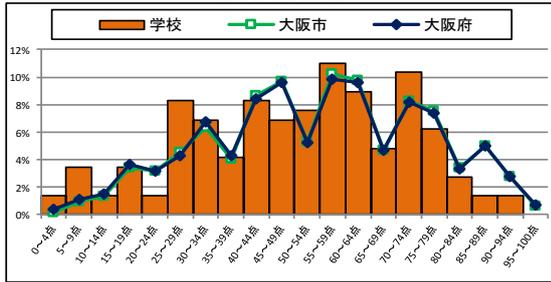


【領域・観点・問題別の分布】

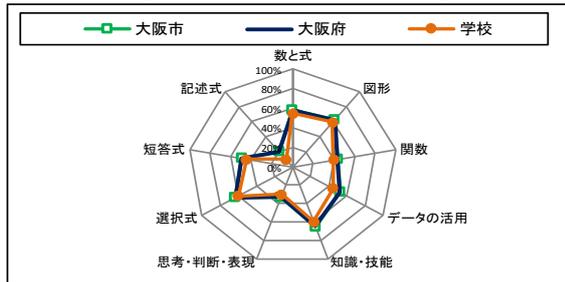


【数学】

【得点分布】

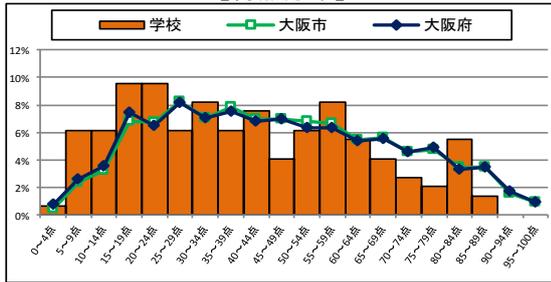


【領域・観点・問題別の分布】

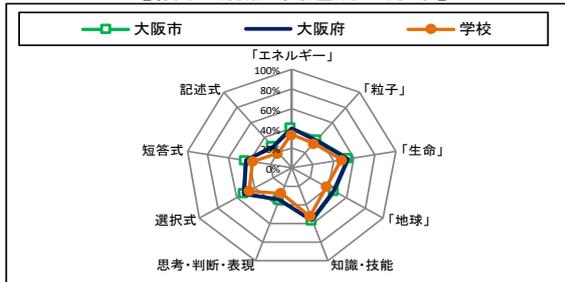


【理科B】

【得点分布】

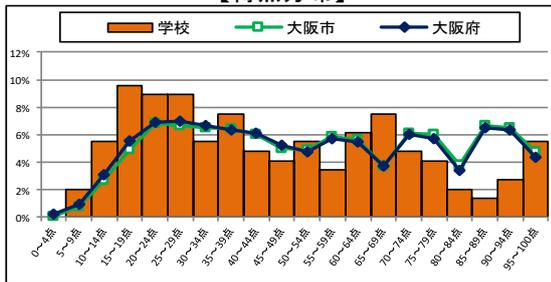


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

